

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組	
一人ひとりを大切に	支え合う	困っている人・助けが必要な人	社会的孤立	▽孤立は高齢者だけではなく、障がい者、生活困窮者、外国人、その他様々な住民が直面している問題である ▽社会的孤立は確かに進んでいるが、実際の状況は見えにくい ▽孤立問題について住民にできることは何かがよくわからない	▽障がい、生活困窮、多文化共生などこれまであまり取り組んでいなかった課題について住民の理解を広める ▽孤立しがちな当事者や家族が参加しやすい地域社会づくりに取り組む ▽人と人がつながり、顔なじみを増やす機会を増やす ▽住民の困りごとにできる範囲で対応する生活支援に取り組む ▽上記各項目についての情報の発信	①地域の諸課題に対する住民の理解を促進するための研修会や交流会を開催する ②参加しやすい小規模な集まりや居場所づくりを支援するとともに、多様な人が交流する場や活動を育てる ③住民同士が挨拶から始め、知り合い、顔なじみへと関係をつくっていきけるよう工夫する ④「何でも相談」「ちょっとボランティア」を充実させ、住民の「お困りごと」を掘り起こし、移動支援や生活支援を実施する ⑤住民による助け合い、支え合いを促進する ⑥ネットやSNSを活用して情報を発信する	
			生活支援	▽困ってる人、助けが必要な人がたくさんいるが、実際にどの人がどんなことに困っているか、どんな助けが必要かがつかみにくいし、本人の声が伝わらない ▽困っている人に何ができるか、どう助けるかが分からない			
		子ども・子育て	虐待・いじめ・不登校・ヤングケアラー・育児の悩み	▽住民が子どもをめぐる問題や情報をよく知らない ▽子どもをめぐる問題の実態把握が難しい ▽個別の問題への実際の対応は難しい ▽子育て支援って具体的には何をするのが分からない	▽子どもをめぐる諸課題の共有 ▽子ども中心のまちづくり ▽地域ぐるみの子育て支援		①子どもをめぐる様々なテーマについての研修や情報交換の場を設ける ②子どもをめぐる相談窓口や支援制度の周知を図る ③幼保育園、小中学校、保護者組織、高校、大学、その他の関連機関と協力連携し、地域全体で子育て支援に取り組み、「大江校区子育てネットワーク」を活性化し活用する
			減災	災害弱者	▽「災害弱者」は色々な社会課題の結果 ▽災害時に何が必要かは災害の状況や個別の事情により異なる		
	健康	健康づくり	健康づくり	▽高齢者だけではなく、住民が日常的に健康づくりできる場や機会が足りない	▽健康づくりの意識を広める ▽健康づくりの場や機会を増やし、参加者を増やす	①健康づくりの意識を広めるための情報を提供する ②毎週土曜の百歳体操を継続し、それ以外にも様々な健康づくりの場をつくる ③住民による自主的な健康づくりの取り組みを支援する	
			つながる	地域連携	▽人間関係の希薄化 ▽校区の諸機関、企業、団体、グループ等との連携が不十分 ▽地域の情報が共有されない		▽住民同士のつながり、特にマンション住民の地域参加を進める ▽世代間交流の促進 ▽多文化共生の視点 ▽情報の発信と共有
	担い手不足	▽民生委員・児童委員等の担い手が見つかりにくい ▽地域福祉活動の担い手が高齢化している ▽住民の地域活動への関心が薄い ▽住民が地域活動に参画する機会が乏しい		▽住民が地域の行事や活動に少しずつ気軽に参加できるようにする ▽住民による自主的な活動を活かす ▽子どもや若い世代の参加を進める	①民生委員・児童委員の活動を支援する ②住民による自主的な活動を支援、促進する ③子どもや若い世代が参加できる場や活動をつくる ④効果的で参加しやすい住民ボランティアの仕組みをつくる		